```
abrics)
       Proposition black, uses and miscellaneous
      L. USES (Uses)
                     ***fiber*** contg., for elec. cond.)
        (synthetic
     Synthetic ***fibers*** , polymeric
     RL: USES (Dses)
     (ethylene, bicomponent with PET ***fibers*** , contg. dielec. substances, elec. conductive)
9002-88-4 ***Polyethylene***
IT
     RL: USE3 (Uses)
           /***fiber*** , bicomponent with PET, elec. conductive)
     1204/1-27-7, uses and miscellaneous
IT
     RL/ USES (Uses)
        (synthetic / ***fibers*** contq., for elec. cond.)
     ANSWER 6 OF 6 CA COPYRIGHT 1997 ACS
L12
A:N
     103 216816 CA
TI
     Antistatic ***fibers***
     Mitsubishi Rayon Co., Ltd., Japan
PA
SO
     Jpn. Kokai Tokkyo Koho, 3 pp.
     CODEN: JKXXAF
     JP 60126310 A2 850705
PΙ
AΙ
     JP 83-232414 831209
DT
     Patent
LA
     Japanese
IC
     ICM D01F001-09
     40-2 (Textiles)
CC
AΒ
     Antistatic
                ***fibers***
                                 contain Ba titanate (I) ceramic
     semiconductors with sp. resistance .ltoreq.1000 .OMEGA.-cm.
     100 parts I semiconductor ***particles*** (sp. resistance 60
     .OMEGA.-cm) contg. 1.5% La and 180 parts ***poly*** (
     ***ethylene*** terephthalate) were spun and drawn 200% to give
     colorless
                ***fibers*** with elec. resistance 6 .times. 107
     .OMEGA.-cm. The
                       ***fibers***
                                      gave fabric with good static
     resistance when rubbed at 20.degree. and 40% relative humidity.
ST
     antistatic agent synthetic
                                  ***fiber*** ; ***barium***
     ***titanate***
                      antistatic agent; polyester ***fiber***
     antistatic agent
IT
             ***fibers*** , uses and miscellaneous
     Acrylic
     Polyester ***fibers*** , uses and miscellaneous
     RL: USES (Uses)
        (antistatic agents for, ***barium***
                                                  ***titanates***
IT
     Antistatic agents
        ( ***barium***
                          ***titanates*** , for synthetic
        ***fibers*** )
IT
     12047-27-7, uses and miscellaneous
     RL: MOA (Modifier or additive use); USES (Uses)
        (antistatic agents, for synthetic ***fibers*** )
IT
     9052-29-3
    RL: USES (Uses)
        ( ***fiber*** , antistatic agents for, ***barium***
***titanates*** as)
IT
     7439-91-0, uses and miscellaneous 7440-03-1, uses and
    miscellaneous
                     7440-19-9, uses and miscellaneous
    RL: USES (Uses)
             ***barium***
                              ***titanate*** antistatic agents for
       polyester ***fibers*** )
```

⑩日本国特許庁(JP)

⑩特許出願公開

® 公開特許公報(A) 昭60-126310

@Int_CI_4

證別記号

庁内整理番号

每公開 昭和60年(1985)7月5日

D 01 F 1/09

6791-4L

審査請求 未請求 発明の数 1 (全3頁)

❷発明の名称 制電性繊維

②特 頤 昭58-232414

❷出 願 昭58(1983)12月9日

砂発 明 者 元 和失 の発明 者 武 居 正俊 砂発 明 者 松本 宏之 砂発 明 者 長 妻 千 幸 ⑫発 明 者 永 井 昭一 砂出 潤 人 三菱レイヨン株式会社

名古屋市東区大幸町610 三菱レイョン株式会社内 名古屋市東区大幸町610 三菱レイョン株式会社内 名古屋市東区大幸町610 三菱レイョン株式会社内 名古屋市東区大幸町610 三菱レイョン株式会社内

名古屋市東区大幸町610 三菱レイヨン株式会社内

東京都中央区京橋2丁目3番19号

砂代 理 人 弁理士 吉沢 敏夫

明 細 費

1. 発明の名称

制缸性根桩

2. 特許請求の範囲

機維形成重合体と比抵抗 1 0 0 0 Ω - cm以下のチタン酸パリウム系セラミックス半導体からなる制度性機維。

3. 発明の詳細な説明

〔技術分野〕

本発明は網定性機能に関するものである。

〔背景技術〕

一般に合成根後は静電気が発生し着用時に不 快感を与える。

この静室気対策は従来より種々考えられており、例えば現水性化合物の繊維表面への強布或は被推中に銀化スズ、酸化亜鉛等の導電性金属酸化物、カーボンブランク金属等を混合する方法、或は繊維表面への金属メッキなどの方法がある。

しかし、これらの方法は、いずれも一長一短があり、制な効果、繊維性能を同時に満足する ものはないのが現状である。

例えば親水性化合物を複雑表面に付与する方法は、初期効果は高いが、耐久性が低く、また錫、亜鉛等の金額酸化物或は金銭粒子を繊維中 に偽合する方法は制度性効果は優れているが着 色が著しく通常の繊維としての便用には大きな 制約がある。

更には亜鉛酸化物は光で、金属は酸、工ルカー りで変質することがあり、耐久性にも問題がある。

金属メッキに於ても同様に被、アルカリによる変質或は低剥離、強力からくる耐久性及び着 色性の点で満足できるものでない。

以上の如く従来の方法は、いずれも制電効果 と他の性能面とのパランスがとれておらず使用 上離点がある。

(発明の目的)

本発明は、使れた制電効果を有して、しかも

他の根准性能をできるだけ扱わない制化性根維 を提供することにある。

(発明の要旨)

即ちな時期の要旨とするところは、機能形成 配合体と比近抗 1 0 0 0 Ω - 両以下のチェン段 パリウム系セラミック半導体からなる側框性機 継にある。

本発明の特徴は帯電防止性放分としてチタン 限パリウム系セラミンク半導体を用いているために弱、亜鉛系酸化物酸は金銭粒子に比して著 しく繊維の着色を減少させることができること にある。

被維表面の抵抗を低減化するためには、例え 事単性の受れた金属粒子或は結系酸化物でもある程度の最を資布もしくは混合する必要があり、 物末状でも著色の強いこれら粒子を含んだ機能 は、女料用或はインテリブ用等の適常の使用に は関がある。又これらの複雑を少割合で他の 繊維と混用しても制電効果を持たせることがで きるが、これらの複雑が混入された個所は経筋

は優れて居り、紡糸工程を含めて通常複雑加工 工程には耐えりるものであり、使用時の経時的 変化も全く見られない。

本発明で使用するチタンはパリウム系セラミンクス半導体は、できるだけ高純度(9999 以上)のチタンはパリウムに L、Ce、Pu、Nd、Sm、Gd、Ho等の3 飾の元素或は Nb、Ta、Sb、Ni、等の5 飾の元素を U.1~1.0 モル 多混合して適常の 窓菜的方法によつて焼成するか、チタンはパリウムを真空或は 選元性界 朗気炉中で 焼成することによつて 得られるが、低抵抗でかつ 品質安定なセラミンクス半導体を得るためには La、Nb等の金属ドーピング方式が 望ましい。

本第明で用いるチタン酸パリウム系セラミンクス半導体の機維形成重合体に対する使用割合は、用いるチタン酸パリウム系セラミンクス半場体の比抵抗及び繊維への付与方式にもよるが、 重量比で30~80 多程度が制度性の点から選ましい。

根雄への付与方式は、繊維要面へのコーティ

は役となって目立ち一数女科としては共動感を 感ずる。

また内眼で利定すると錫系セラミックス半導体含有フイルムのものは背黒いのに対し、チタン酸パリウム系セラミック半導体含有フイルム は炎黄色で歴然とした差が存在する。

またチョン酸パリウム系セラミックス半導体に当然ながら酸化物である故耐熱性、耐寒品性

ング方式或は混合方式いずれでも良いが、 経済 性の点で云えば紡糸時の混合方式が優れており この場合制選性の効果及び繊維物性をできるだ け狙わしめない観点から、 できるだけ繊維表面 に半導体粒子が偏在するように、 例えば混合紡 糸、 複合紡糸等により繊維形成を行うことが望ましい。

また用いるチタン依パリウム系セラミックス 半導体粒度は紡糸する繊維のデニールにもよる が、制度効果から云つてできるだけ細かい方が よく、粒径:0.5 am 以下が望ましい。

以下実施例をもつて本発明を説明する。 実施例1

チタン酸パリウム 9 8.5 重量 5、ランダン1.5 重量 5 から成る比抵抗 6 0 Ω - cmのセラミック 半導体 粒子(平均粒径 0.0 8 μm) 1 0 0 度量 部と固有 枚度 0.3 8 のポリエチレンテレフタレ - ト 1 8 0 重量 部とを、常圧 選案 気流下 で 270 で×3 0 分間 溶酸混合して 得た組成物を、 紡糸 風度 2 6 5 で、紡糸速度 2 8 0 mで紡糸した。 プいでは伸出度 9 0 ℃で 2 倍に延伸した。 得られた設権はほと人ど無色に近いものであり、その無気状抗は 3 × 1 0 Ω - m であつた。

ついで、この徴性を用いて脳塊を作製し各種の機能を20℃、40 SRRで扱過したが、静 低気の発生はほとんどなく、いわゆるパチパチ 音の発生は認められなかつた。

奖 統 例 2

チタン似パリウム 9 8.8 取録 5、ニオブ 1.2 水量 5から成る 5 近近抗 1 5 0 Ω - 000 0 半導体 校 子 (平均校径 0.0 6 μm) 1 0 0 取履 BB と アク リロニトリル 9 0 5、 ff 酸 ビニル 8 5、 メチル ビニルピリシン 2 5 とから成る 東合体 2 0 0 部 とをシメチルアセトアミド 8 0 0 部の中で混合 し、 導催性組成 物(A) を得た。 この組成 物を孔径 0.1 mm、 1 0 0 0 H のノズルを用いて 没式 紡糸 し施講水中で 2 倍延伸し、 乾燥し1 0 0 mmの長 さに切断した。 得られた複雑の外 観はほとんど 無色に近く 4 複雑の 複度 は 5 デニールであつた。

*

この複雑の表面 医気抵抗は 2 0 ℃、 4 0 s R H

で、 $4 \times 10^6 \Omega$ 一 α であり、制理性複雑として 受れていることを確認した。

突 施 例 3

チタン酸パリウム 9 8.5 草瓜 5、サマリウム 1.5 重量 5 から成る比低抗 2 5 0 Ω cm の半導体 粒子 (平均粒径 0.1 μm) 1 0 0 重量 添を能 酸ピニル系エマルション (ヘキスト社製、Appreten H A - 1 0) 1 0 0 重量 80 に混合し 4 単 4 成 物 を作成した。

この専覧組成物を100デニール、40フラメントのポリアミド級維(ナイロン6)に連続的に強布し乾燥した。

半導体粒子成分の付着量は約30% owlであった。

代理人 吉 沢 敏 夫 医乳

手 続 補 正 書(自発)

明 10 59 年 4 月 16 日

流

特許庁長官 若杉和夫 殷

- 1. 都件の表示
 - **好顧昭58 232414 号**
- 2. 発明の名称 制選性機能
- 3. 稲正をする者

事件との関係 特許出額人

東京都中央区京橋二丁目3番19号

(603) 三菱レイヨン株式会社

取締役社長 河 崎 星 大

4. 代 理 人

東京都中央区京橋二丁目3至19号

三菱レイヨンは式会社 😗

5. 福正命令の日付金

8 8



1 頁下 3 行「ブラック金属」→「ブラック。金属」 4 頁 1 行「異動感」→「異和感」

5頁6行[Pu]→「Pr]

7 頁 3 行 「 3 × 1 0 ° Ω - am 」 → 「 6 × 1 0 ° Ω - am 」

8頁1行「4×10°Ω-αx」→「2×10°Ω-αx」

以上